

## ●セピア

詩・曲 しまむらかずお

夕暮れの 川のほとり のぼり詰めて  
おだやかな 風に揺れる 秋色の草たち  
落ちてゆく夕陽に 照らされて  
魚の群れのような あかね雲  
もうすぐあなたに 会えるはずの  
ほんの小さな Ah ひととき  
こんなセピアな景色でも 淋しくないのは  
そうよ あなたがそばに いて くれるから  
(間 奏)

夕闇が 迫る 道で 自転車降りて  
通り過ぎる 人の長い 影を追って歩いた  
気がつけば 細い月 止まる時間  
街のざわめきさえ 遠去かる  
もうすぐ あなたも この坂 登る頃  
胸に小さな 灯りがともる  
こんなセピアな景色さえ 美しいのは  
そうよ あなたがいつも いて くれるから  
(A メロ間奏)

いつもと変わらない 景色だけど  
秋の風 感じて 襟を立てたとき  
遠くにあなたの 愛しいシルエット  
すこしずつ近づく Ah 幸せ

こんなセピアな景色でも 温かいのは  
そうよ あなたがいつも いて くれるから  
そうよ あなたがそばに いて くれるから

(終 奏)